

問1 銀行は、企業への貸し出しで受け取る利子を、預金者へ支払う利子よりも高く設定しています。このような利子の設定によって得られる利益（利ざや）の主な目的として、正しいものはどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 銀行の店舗運営費や人件費をまかなない、企業の利益として確保するため。
2. 日本銀行から借り入れた資金を、利子をつけて全額返済するための原資にするため。
3. 景気が過熱した際に、企業が資金を借りすぎないように、市場の通貨量を調整するため。
4. 預金者が将来受け取るはずの利子を、政府が税金として回収しやすくするため。

問2 景気が後退している状況において、日本銀行が買いオペレーションを実施した場合、市場の利子率（金利）と企業の経済活動にはどのような変化が起きると期待されますか。その因果関係を説明したものととして適切なものを選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす
2. 市場の通貨量が増えることで利子率が上がり、企業は将来のインフレに備えて生産を縮小する
3. 市場の通貨量が減ることで利子率が上がり、企業の借金が減るため経営状態が改善する
4. 市場の通貨量が減ることで利子率が下がり、デフレが解消されて企業の売上が増加する

問3 日本において、紙幣の発行や一般の銀行への資金の貸し出しを行うほか、政府の資金の出し入れを行う「政府の銀行」としての役割を持つ金融機関はどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）

1. 日本銀行
2. 市中銀行
3. 世界銀行
4. 日本政策金融公庫

問4 日本の中央銀行である日本銀行は、その役割から「銀行の銀行」や「政府の銀行」と呼ばれています。日本銀行が直接、資金の貸し借りや預金の受け入れといった取引を日常的に行う対象として、最も適切な組み合わせを選びなさい。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 民間の金融機関と政府
2. 一般の企業と家計（個人）
3. 地方の工場と商店街
4. 外国の個人投資家とNPO法人

問5 資金の調達方法の一つである「間接金融」の説明として、最も適切なものはどれですか。（2021年 岐阜公立入試 類似）

1. 企業が株式や債券を発行し、投資家から直接資金を借り入れる仕組み
2. 銀行が預金者から集めた資金を、自らの責任で特定の企業に貸し出す仕組み
3. 政府が税金として集めた資金を、公共事業のために地方自治体へ配分する仕組み
4. 日本銀行が市中銀行との間で国債を売買し、市場に流通する通貨量を調整する仕組み

問6 銀行を通じたお金の流れにおいて、銀行が家計などから「預金」を受け取り、それを別の企業への「貸し出し金」に充てる仕組みの説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 福岡県公立入試 類似）

1. 預金者と資金を借りる企業が直接契約を結ばず、銀行が仲立ちとなって資金を融通する仕組み。
2. 企業が株式や社債を発行し、家計から直接資金を調達して事業を行う仕組み。
3. 日本銀行が政府の銀行として、税金を預かり公共事業の資金を貸し出す仕組み。
4. 各個人が所有する余剰資金を、インターネット上のプラットフォームを通じて個人間で直接貸し借りする仕組み。

問7 景気後退期において、日本銀行が公開市場操作の一環として「買いオペレーション」を実施した際、金融市場で直接的に起こると予想される変化はどれですか。（2023年 兵庫公立入試 類似）

1. 民間銀行が保有する資金量が増加し、市場の利子率が低下する。
2. 民間銀行が保有する資金量が減少し、市場の利子率が上昇する。
3. 民間銀行の国債保有量が増加し、企業への融資額が減少する。
4. 日本銀行の保有する資金量が増加し、政府の財政支出が拡大する。

問8 家計から銀行などの金融機関へ預金が行われ、その資金を金融機関が企業に貸し出す「間接金融」に対し、家計が証券市場を通じて企業に直接資金を供給する「直接金融」の特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれか。（2018年 徳島公立入試 類似）

1. 金融機関が仲介役となり、預金者の代わりに貸付先の審査やリスク管理を行う。
2. 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに投資家から資金を直接募る。
3. 日本銀行が通貨供給量を調整することで、市場全体の金利に影響を与える。
4. 政府が公共事業を行うために、国債を発行して家計から広く資金を集める。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 銀行の店舗運営費や人件費をまかない、 企業の利益として確保するため。	銀行は多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて大口の資金として企業などに貸し出す「金融仲介機能」を果たしています。この仲介業務をビジネスとして成立させるためには、店舗の維持費や従業員の給与などのコストがかかります。そのため、貸出金利を預金金利より高く設定することで得られる収益が必要不可欠となります。
問2	答え 1 市場の通貨量が増えることで利子率が下がり、 企業は資金を借りやすくなって設備投資を増やす	日本銀行が買いオペレーションを行い市場の通貨量が増えると、資金の供給が需要を上回るため、お金を借りる際のコストである「利子率」が低下します。利子率が下がれば、企業は低い利息で銀行から資金を借りて新しい工場を建てたり、機械を導入したりする（設備投資）といった経済活動を行いやすくなります。これにより、社会全体の経済活動が活発になり、不景気からの脱却が図られます。
問3	答え 1 日本銀行	日本銀行はわが国の中央銀行であり、「発券銀行」「政府の銀行」「銀行の銀行」という3つの主要な役割を担っている。これに対し、市中銀行は企業や個人と取引を行う一般の銀行を指し、世界銀行は発展途上国の開発支援などを行う国際機関である。
問4	答え 1 民間の金融機関と政府	日本銀行は私たち個人や一般の株式会社が直接口座を開設して預金をすることはできません。日本銀行は、民間の銀行などの金融機関に対して資金を融通する「銀行の銀行」としての役割と、税金などの国庫金を管理する「政府の銀行」としての役割を担っているため、取引相手は金融機関や国に限定されています。
問5	答え 2 銀行が預金者から集めた資金を、自らの責任で特定の企業に貸し出す仕組み	間接金融では、預金者は自分の預金がどの企業に貸し出されるかを直接指定することはできません。金融機関が預金者から預かった資金を一括して管理し、審査を行った上で企業に融資します。一方、企業が株式などを通じて直接投資家から資金を得る方法は直接金融と呼ばれます。
問6	答え 1 預金者と資金を借りる企業が直接契約を結ばず、 銀行が仲立ちとなって資金を融通する仕組み。	銀行が預金として集めた資金を自らの判断で貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれます。預金者は銀行に資金を預け、銀行がその責任において企業などへ貸し出しを行うため、預金者と借り手の間に直接的な契約関係はありません。これに対し、株式や債券などを通じて資金を調達する仕組みは「直接金融」と呼ばれ、区別されます。
問7	答え 1 民間銀行が保有する資金量が増加し、 市場の利子率が低下する。	公開市場操作（買いオペレーション）は、日本銀行が国債を買い取る対価として、民間銀行の当座預金口座に代金を振り込む形で行われます。これにより民間銀行の資金量（通貨供給量）が増えるため、資金の借り手にとってのコストである「利子率（金利）」が低下するメカニズムになっています。
問8	答え 2 企業が株式などを発行し、金融機関を介さずに 投資家から資金を直接募る。	直接金融は、資金の余っている家計などが、資金を必要としている企業に対して、金融機関を通さずに資金を供給する点に特徴があります。この方式では、投資に伴うリスクは投資家（家計など）が負うこととなりますが、企業にとっては銀行の意向に左右されず、広く市場から資金を集められるメリットがあります。